

P30190

動作確認チェックシート

検査日	2025年 9月 10日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	紫外可視分光光度計	電源電圧	単相100~240V, 140VA	測光方式	ダブルビーム測光方式
型式	UV-1900i	周波数	50/60Hz	光源(可視, 紫外)	20Wハロゲンランプ 重水素ランプ
メーカー名	島津製作所	大きさ(W×D×H)	450'×501×244	分光器	ツェルニータナ分光器
機械Ser.No	A12536002746	測定波長範囲	190nm~1100nm	検出器	シリコンフォトダイオード
製造年月	2022年7月	スペクトル幅	1.00±0.20nm	重さ	16.6kg

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○
6 データバックアップ	PLC (未対象) TP (未対象) BT交換 (未対象)	

備考(動作確認内容・不具合内容等) 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

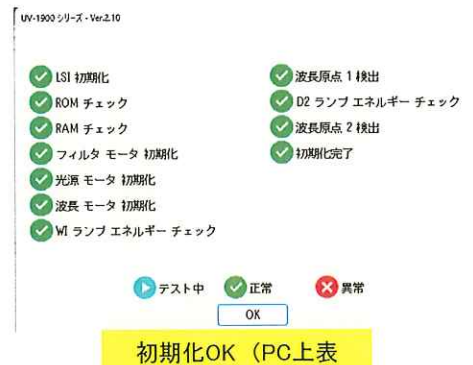
- (1)装着されたセルホルダにセット可能なセルの在庫なし。このため弊社在庫装置(UV-2700)から標準的な10mm角セル用ホルダーを仮借用して確認した。またセルは紫外光(200~400nm)に対応可能な石英製を使用した。
- (2)標準サンプルやフィルタが付属していないため、麦茶、コーヒーをサンプルとしてデータ取得のみ実施。ブランクには純水を使用し精度は不問とした。また測定モードも多岐なため、スペクトルモードの吸光度と透過率を測定した。
- (3)弊社PCにソフトウェアをインストールして、外部制御モードで測定実施。
(タッチペンが付属していないが、装置タッチパネルでの操作も問題なし)

2 (1)装置電源ON、初期化(イニシャライズ)問題なし。

(2)ブランクによるベース補正問題なし。

(2)スペクトル測定は、次頁参照。

基本的には顧客サンプルでの比較測定を推奨します。



取扱説明書(有 CD-ROM及びインストール用ソフト内)

修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者
2025年9月9日	PC~装置接続ケーブルなし、補填。	野沢

SHIRASAGI入力

(備考欄コメント)

[責任者]

動作(OK) 作業工数[10H]

専用PCはなし、インストール用ソフト有り。装置本体用

検査担当者[野沢]

タッチペンなし。ランプ点灯時間(D2,WI) 1181h





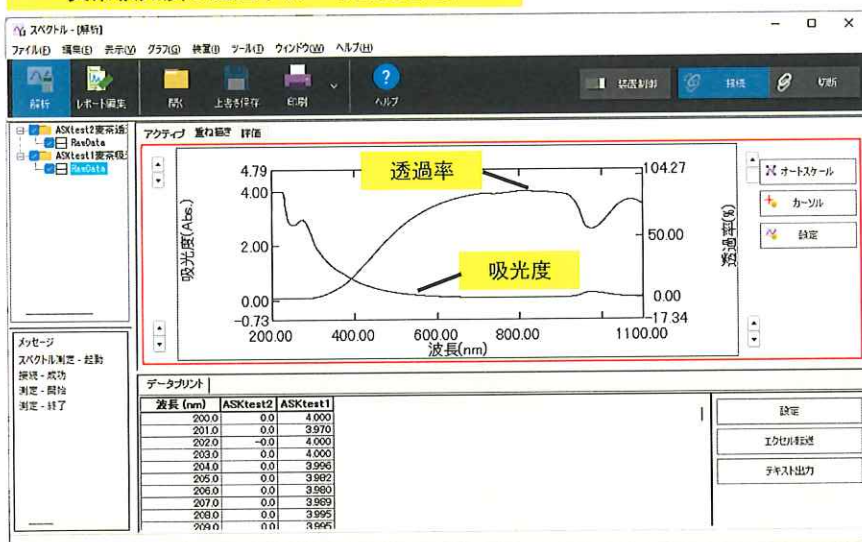
装置装着のセルホルダー



確認時使用のセルホルダー&セル



麦茶吸光度&透過率(データ重ね合せ)



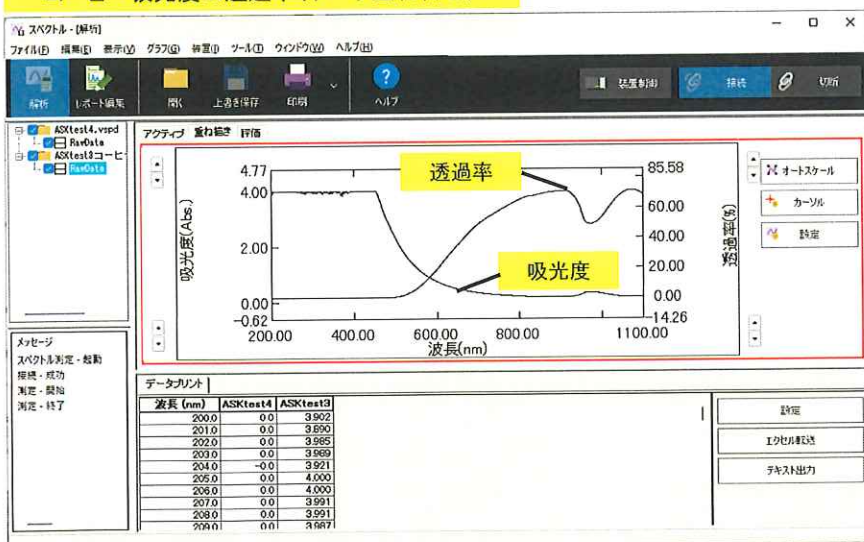
装置条件

パラメータ - UV-1900 シリーズ

開始波長(nm) 1100
 終了波長(nm) 200
 データ間隔(nm) 1.0
 スキャン速度 中速
 測光値の種類 透過率
 スキャン1回の所要時間 3分

付属品 高度な設定
 繰り返し 後処理
 パラメータファイルを上書き保存して開ける
 パラメータファイルを新規保存して開ける
 キャンセル

コーヒー吸光度&透過率(データ重ね合せ)



高度な設定

エネルギー測定パラメータ
 光源 D2
 光源切替波長(295-364nm)
 340.00
 S/N切替 標準

OK キャンセル

麦茶の吸光度、透過率とも400nm以下での変化が見られることから、紫外域も正常に測定出来ていると考える。精度確認については、既存データと比較するのが望ましいため、顧客サンプルでの確認を推奨します。